

役場庁舎を緑化し、住民に開放してはどうか

石川 眞男 議員



A 町長 緑化は、「建物」の構造「土質」「樹種の選定」等の検証が必要となる。開放については、開放部分の制約も含め、

Q 町として環境問題に意欲的な姿勢を示す意味でも、町を住民に身近なものに感じてもらおう意味でも、庁舎屋上の安全を確保しながら緑化し、住民に開放してはどうか。

A 町長 緑化は、「建物」の構造「土質」「樹種の選定」等の検証が必要となる。開放については、開放部分の制約も含め、

Q 産・官・学が連携し、農産物を含めた町の特産物づくりに、何年か集中したらどうか。

A 町長 新年度新規ソフト事業である「地産地消モデルタウン推進事業」で、県の専門機関、研究機関や町内外の食品関連企業の協力もいただき、農産物の加工品開発を計画している。より現実的な商品化を目指し、親しまれる特産物メニューを開発したい。

Q 教育環境を整える意味で、教員の忙しさの解消に対し、どのような取り組みを考えているか。

A 教育長 会議の精選・重点化による短縮、公務運営組織の再編成や提出書類の簡略化を進める。また、教員が元気でないと、子どもたちが元気になれるはずがない。そのため、悩みを同僚や先輩教員に相談できる「風通しのよい職場」、「明るい職場」づくりをこれまで以上に進めること

分の制約も含め、

開放部分の制約も含め、

開放部分の制約も含め、

開放部分の制約も含め、

開放部分の制約も含め、

開放部分の制約も含め、

平成22年度、町水田農業の取り組みを問う

斉藤 嘉和 議員



Q 米戸別所得補償モデル対策は。

A 町長 この事業は、恒常的に赤字に陥っている米の生産農家に対し、10アール当たり1万5000円（全国一律定額）を交付するものである。国が定めた生産数量で、戸別に配分された面積を守る必要となる。また、水稲共済加入が必須条件となる。

Q 米の減反によって、水田に麦や大豆を作付した場合、10アール3万5000円が支給される。また、新規需要米として、米粉用米や飼料用米、ホールクロップサイレージ用稲を作付した場合の支給額は8万円、表作に稲、裏作に麦を作付した二毛作の水田には、1万5000円である。

A 町長 減反によって、水田に麦や大豆を作付した場合、10アール3万5000円が支給される。また、新規需要米として、米粉用米や飼料用米、ホールクロップサイレージ用稲を作付した場合の支給額は8万円、表作に稲、裏作に麦を作付した二毛作の水田には、1万5000円である。

Q 米戸別所得補償モデル対策は。

A 町長 この事業は、恒常的に赤字に陥っている米の生産農家に対し、10アール当たり1万5000円（全国一律定額）を交付するものである。国が定めた生産数量で、戸別に配分された面積を守る必要となる。また、水稲共済加入が必須条件となる。

Q 米の減反によって、水田に麦や大豆を作付した場合、10アール3万5000円が支給される。また、新規需要米として、米粉用米や飼料用米、ホールクロップサイレージ用稲を作付した場合の支給額は8万円、表作に稲、裏作に麦を作付した二毛作の水田には、1万5000円である。

A 町長 減反によって、水田に麦や大豆を作付した場合、10アール3万5000円が支給される。また、新規需要米として、米粉用米や飼料用米、ホールクロップサイレージ用稲を作付した場合の支給額は8万円、表作に稲、裏作に麦を作付した二毛作の水田には、1万5000円である。

Q これからは4ヘクタールを超えても集団加算の10アール4万円の補助金がなくなるが。

A 町長 減反によって、水田に麦や大豆を作付した場合、10アール3万5000円が支給される。また、新規需要米として、米粉用米や飼料用米、ホールクロップサイレージ用稲を作付した場合の支給額は8万円、表作に稲、裏作に麦を作付した二毛作の水田には、1万5000円である。



役場庁舎屋上から赤城山を望む



ホールクロップサイレージ刈り取り

女性と子どもの健康を守るワクチンの公費助成を

石内 國雄 議員



費助成が強く求め
負担となる。公
あり、高額
え、3回必要
1回1万円を
接種費用は
減らすことが
できる。接種
費用は100%

Q 女性の命を守り、発病防止に大きな効果のある子宮頸がんワクチンへの公費助成を問う。「子宮頸がん」は、検診と予防ワクチンの接種で、ほぼ100%防げる。12歳女子に接種した場合、73%発生を減らすことができ

Q 「細菌性髄膜炎」は、生後3ヵ月から5歳ま

A 町長 町では、子宮頸がん検診を実施している。小学校6年生から中学校3年生を対象に、ワクチン接種費用を全額補助する自治体も出てきているが、玉村町で、小学校6年生の女子全員にワクチンの全額補助を行った場合、約1000万円かかる。今後、近隣市町村の状況を把握した上で検討したい。

A 町長 「ヒブワクチン」「小児用肺炎球菌ワクチン」を同時に接種するこ

とで、細菌性髄膜炎の予防効果があるとされている。今後検討していきたい。



見てわかる子宮頸がん予防

定住者をふやす施策と、南中テニスコート増設は

備前島 久仁子 議員



町の人口が減少
している。ことし、

Q 町の活性化、発展の第一の条件は何だと考えるか。
A 町長 活気のある町。生活をしている人が、住みやすいと感じる町ではないか。
Q 私は、人口が安定していること、若年層が多いこと、これが町の発展の第一条件だと考える。しかし、町の人口が減少している。ことし、

Q 南中学校のテニス部員は90名いるが、コート

成人を迎えた若者500人のうち、何人が、将来、町に残ると思うか。
A 町長 約4割だと思

Q 南中学校のテニス部員は90名いるが、コート

は2面と狭く、十分な練習ができない。コートの増設計画はどうなっているのか。
A 町長 中学校の東側隣接地に4面のテニスコートを増設するので、来年3月には完成する。今あるテニスコート地には、その後、武道館を建設する。



早期開設が期待されるファミリーサポートセンター